広報 いずみざき

昭和61年7月1日発行　（第228号）　編集・泉崎村役場総務課　印刷・野木印刷所

村づくり五原則

一、皆んなで手をつなぎ生きがいと幸せをつくろう。
一、きれいな環境と健康なからだをつくり快適な生活をめざそう。
一、知性と教養を高め文化の営みをさかんにしよう。
一、働く喜びを味わい豊かな生産を上げよう
一、皆んなで心を合わせ平和で明るい郷土をつくろう。

初の名誉村民に輝く 渡辺酉蔵氏

渡辺酉蔵氏は、自らが経営する中銀マンション株式会社々長として住宅産業に活躍され、また新しいアイディアで老人福祉ホームなど福祉事業に忙がしい毎日を過しておられます。

こうした中で一貫して郷里に熱い視線を送り思いを寄せてこられた氏は郷里「泉崎村」の活性化を願って太田川奥地を開発、ゴルフ場の建設、さらに私財を提供して特別養護老人ホームの建設などわが村の福祉の向上に大きな貢献を納められました。

「社会文化の振興に尽くし村民が郷土の誇りとし深く尊敬に値する。」という条例にあてはまるとして六月定例議会に於て認められ、泉崎村初の名誉村民となられました。

（名誉村民については八ページをごらん下さい。）

昭和61年 7月号

〈村のうごき〉

	人口	人口	合計	世帯数
今月（6月1日現在）	男 2,922人（±0）	女 3,009人（＋7）	5,931人（＋7）	1,280戸（＋10）
前月（5月1日現在）	男 2,922人	女 3,002人	5,924人	1,270戸

優良町村で表彰される

去る六月十一日、福島県町村会定期総会において、我村が優良町村として表彰されました。
これは、財政運営をはじめとして、一般事務処理、産業振興、教育、土木事業、福祉対策、環境整備等行政運営全般に亘りその功績が認められ、他町村の模範となるものであるとして表彰されたものです。
村当局としましても大変名誉なことであり、村民の皆様一人一人のご理解とご協力の賜ものと感謝しております。今後なお一層行政の充実、地域の発展に努力する決意を固めております。

優良事績

財政運営

高速交通機関の整備、企業の進出等により地域経済が活性化し、地域社会が変容するに従い村の行財政需要が増大し、多様化していく中でますます合理的な財政運営が要請される。

そこで行政の役割の再検討や内部事務の効率化を進め投資経費の支出にあたっては、地域への効果とその費用の比較に基づき、優先、重点的な配分を行い、効果的支出を実施している。

事務処理

行財政の効率的運用を進めるにあたって、事務処理は、行政の意思決定に必要な一切の情報の管理であるという観点から情報の収集・処理・保管・保存という一貫した流れを確立し、また合理的な情報システムの確立のため、事務分掌の見直しと事務能率の向上と住民サービス向上のため積極的に電算化を進めている。

議会運営

多様化、そして複雑化していく行政を、長期的視野に立ち、総務、厚生、産業、土木の四委員会で積極的に審議し、村勢の向上に議会が一丸となって努力している。

選挙

永年の選挙管理委員会の啓発活動により住民の選挙に対する意識が定着し、各種選挙において高投票率を維持している。さらに住民組織である白バラ会、明るい選挙推進協議会が積極的な選挙啓発と公正な選挙の執行に努め、六十年度は選挙啓発モデル地区に指定される等実績を上げている。

産業振興

本村の産業構造は、農家が全世帯の六十三％を占めており、農産物は米を主軸とし、野菜、葉たばこ、畜産、養蚕等の収入が大きい。農業の近代化を目指して大型ライスセンターや育苗センターを設置し、大型機械の共同利用組織や野菜の選果、集出荷施設等を充実し、交通輸送条件の進歩や周辺地域の都市化等に対応するグリーンアスパラ等の野菜生産やハト麦の一貫生産等の新しい農業が育成されている。本村の企業誘致については矢吹Ｉ・Ｃや新幹線新白河駅の開設に伴い、益々交通の便が確保され、第一、第二工業団地をはじめ工場の集団的立地条件を整え、現在十八事業所一、二三五名が就労しており、今

後も立地条件を生かした公害のない男子雇用型企業の誘致を進める。

教育事業

義務教育は児童、生徒の学習と心身陶冶の拠り所であるため環境整備には特に意を用いており、中学校移転改築工事も着工し、ゆとりある快適な教育環境を確保し、自主性・創造性をもった個性豊かな児童・生徒の育成を目指している。幼稚園は村の中央部に設置され、二年保育を行い、幼児期の教育は生涯を通じてきわめて重要で人間形成の基礎をなすものとして位置づけている。また社会教育においては婦人教育・家庭教育・成人教育・高齢者教育など、学級・教室が開かれており、教養の向上、住みよいコミュニティ作りに貢献している。さらに社会体育の振興は、健康で連帯感の強い豊かな住民生活の確立を図るうえできわめて大切であることからその振興につとめ、村体育協会が中心となり、野球・ソフト・バレー・卓球・ゴルフ・体育大会等が多彩に繰り広げられており、スポーツ施設も特定地区公園（カントリーパーク）事業により各種スポーツ施設が完備しつつある。

土木事業

道路は、地域の総合的な開発を図り、生活及び生産活動を向上させるため最も重要な社会資本であるので、県道三路線のバイパス・ライナー道路建設等広域的な道路整備を推進している。現在、村道路線数二一一、延長約一四七キロメートルで道路舗装率五十三％と県内でも上位にランクされている。

福祉対策

本村は、全国に先がけ村立病院を設置し、休肝日を設定する等村民の健康を守る事業を実施し、保育所、老人福祉センター、特別養護老人ホームを設置し、地域ぐるみで児童・老人等の福祉環境の整備を図っている。さらに、民生委員・保健婦・家庭奉仕員が地域での福祉体制の強化のため活動して、在宅福祉の向上に寄与している。

環境整備

住民が等しく水道の恩恵に浴するため、未給水区域の解消及び新たな需要に応じた生活用水の確保を行う。また現在、農業集落排水業業により集落内の宅地・施設地からの雨水等を安全に排除し、生活、生産活動によって排水される汚水の適切な処理を行う下水道の整備を施行しており、快適な生活環境と良好な生産環境の整備に全力を尽している。

その他

高速交通体系の整備は、企業の進出を当地方にもたらし、就労の拡大とともに人口の流入が増加していく中で、当村の人口増加と就労者の居住地確保のため三九七区画の大規模な住宅団地造成を行い、昭和五十九年度完成した。現在約八十六％（三四一区画）が売却されている。

表状を手に村三役と教育長、総務課長、躍進に努力します。

敷地造成開始する。

六十二年十二月 完成予定

泉崎中学校の移転建設につきましては、地権者の方々をはじめ、全村民の御理解ある御協力を賜わり厚く御礼申し上げます。
これまでの経過と概要を報告致します。

設スタート

ゆとりある空間

用地取得

総面積
五四、五八〇㎡

現在の中学校が危険建物であるかどうか、耐力度調査を六十年九月二十五日実施し、十一月十一日危険建物であることの報告を受けました。

村の取り組みとしては、当初予算に用地取得費を計上し、六十年十二月に十名の地権者に御協力をいただき、二九、〇五六㎡また、六十一年四月に六名の地権者より二五、五二四㎡　計五四、五八〇㎡の学校敷地を取得いたしました。

敷地造成

鈴木・福南建設工事共同企業体と契約

敷地造成については、測専社㈱に設計を委託し、去る五月三十一日に十社を指名し、造成工事の入札を行ないました。入札の結果、鈴木・福南建設工事共同企業体　代表者・鈴木建設　鈴木喜代蔵に決定し、六月十六日、議会の承認を得て六月十七日契約を行ない、一二〇日間の工期で実施されます。

本体設計

多目的スペースを充分にとり入れ機能性を生かす

本体工事は、本体設計委託のため、六十一年一月、四社を指名し、平面プランの提出を求め、二月に検討委員会を開き、検討の結果㈱教育施設研究所に決定しました。

普通教室十クラス、特別教室六室、それに、多目的スペースとして、図書室と視聴覚教室とを併用し、学習センターとしての機能を有するラーニングセンターと、全体集会、学習の場としてのワークセンターとを組み入れた基本設計（総面積約三、七二〇㎡）を五月に完了し、現在、実施設計に取り組んでいる段階です。

今後の予定

六十二年末に完成予定！
体育館は
六十三年三月完成

八月に敷地造成を完了し九月に本体工事を着工し、六十二年第二学期終了までに完了の計画です。

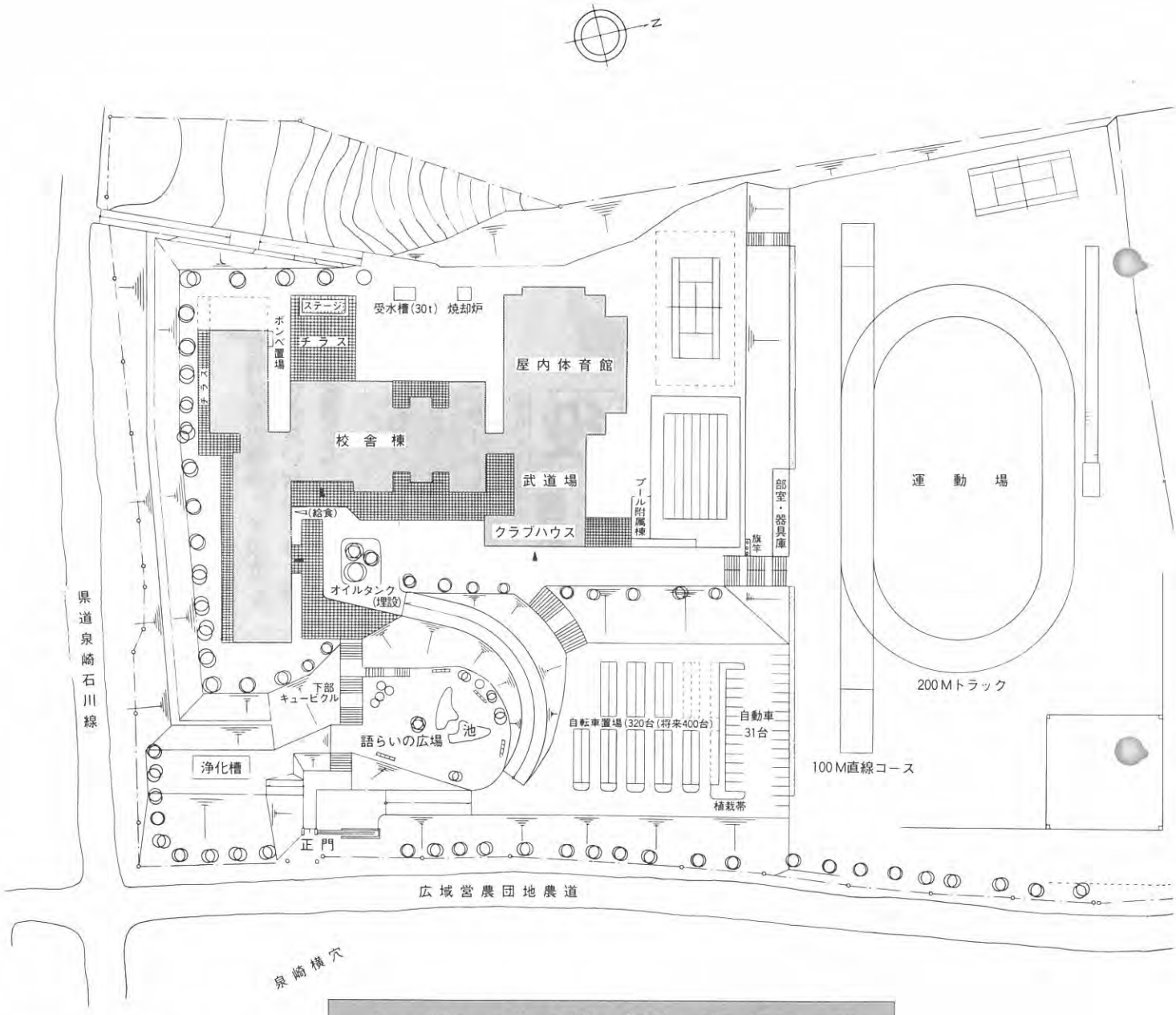
また、体育館については六十二年度単年度事業で計画しており、中学校の卒業式までには完了する計画です。

これらの建物工事と併わせ、屋外環境整備にも努め緑を生かし、学校生活に潤いのある環境づくりを図っていく計画であります。

21世紀の未来型校舎

中学校建

――――多目的スペース生かし



中学校移転建設費

〈校舎建築費〉

建物延面積　　3,720㎡

事業費　　655,000,000円

（年次計画　S61年度分　262,000,000円
　　S62　〃　393,000,000円）

補助金　　145,000,000円

〈敷地造成工事〉　（5.4*ha*）

敷地造成費　　50,000,000円

村内総ぐるみクリーンアップ作戦推進協議会設立

去る五月二十九日「村内総ぐるみクリーンアップ作戦推進協議会」が設立しました。設立総会では、「村内の居住環境を整備し清潔で住み良い村づくりを進めること」を目的に、自治組合長、各種団体の代表者を役員とし、これからの方針、計画が決定されました。

会では、自分たちが住むこの泉崎を美しく、住み良くしよう、皆んなで協力して頑張ろうと参会者全員の意志決定をみることができました。本会の設立により、カとハエのいない村、ゴミ一つない村づくりが本格的にスタートしました。

作戦内容は？

一、道路などに捨てられた空ビン、カン、ビニール、プラスチック類、紙屑、廃材等のゴミ、河川敷等の流木等の取除き雑草等の刈払。
二、下水溝及び側溝の清掃
三、ゴミ収集所の清掃
四、畜舎及び堆肥舎の清掃消毒（持主）
五、防火水槽用水路の点検清掃
六、その他、村内の美化に関すること。

期間は？

年間を通して
毎月　第一・第三日曜日
（午前六時～）

役員の方々です

会　長　熊田　直輝（村議会議長）
副会長　鈴木　寛（村消防団長）
〃　佐川　功（村商工会長）
〃　穂積　政治（村老人クラブ連合会長）
〃　本柳　タイ（婦人団体連協会長）

行政改革はみんなのため

＊老人福祉センターの管理運営を民間に委託しました＊
＊利用方法は今までと同じです＊

老人福祉センターは昭和五十七年に建設されて以来四年間皆様方に御利用をいただいておりましたが、経営内容をみると昭和五十九年度及び六十年度の決算状況は別表(1)のとおりとなりこのままで仮に十ケ年間経過すると何んと四千万円の赤字になると予想されます。その場合マイナス経営は皆様方が納められた貴重な税金から負担しなければなりません。この事態に対処する為今年五月より管理運営を民間（大日本給食センター）に委託することといたしました。委託した場合の経費節約は別表(2)のとおりとなります。料金、サービスとも今までと同じですので今後とも老人福祉センターを多くの方がご利用くださるようお願いいたします。

老人福祉センターの決算状況　（別表(1)）

昭和59年度	１．総収入	1,565,200円
	２．総経費	5,533,477円
	差引	△ 3,968,277円
昭和60年度	１．総収入	1,702,610円
	２．総経費	5,712,255円
	差引	△ 4,009,645円

老人福祉センター民間委託の場合の経費節約表　（別表(2)）

１．委託料	年	1,500,000円
２．60年度の赤字		4,009,645円
		2,509,645円

⇧
節約できた金額です。

※１ケ年 2,509,645円の節約で10ケ年経過するとなんと、25,096,450円の節約となるのであります。

千四百人参加してクリーンアップ作戦展開!!

去る六月八日(日)午前五時三十分、村内一斉にクリーンアップ作戦が展開されました。各家から一人、ほとんど全家庭から、約千四百人が参加しました。草を刈る、空カン、ゴミを拾う、消毒薬を散布する等村全体がクリーンアップ一色にそまる朝でした。

草刈り

四トントラックで七台

これは六月八日クリーンアップ作戦で拾ろわれた空カンの量です。

誰れがすてるのでしょうか?……

もしすてるだけで拾う人がいなかったらこの地球はゴミの山になってしまうのではないでしょうか。

すてる前にちょっと考えましょう〝皆んなが住む自分の村〟です。

快適な環境はクリーンアップ作戦だけでは決してつくれません。住む人の心づかいと心配りが美しい清潔な村をつくります。

ゴミ、空カンはすてない排水をたれ流しにしない、消毒をする。草を刈る等、朝夕ちょっと心がけてみましょう。

まず、我が家の囲りから……。

ごくろうさまです!!

ご存じですか

最近、廃ビニール等の不法投棄が見うけられます。農業用のビニールは、「産業廃棄物」と、いい公共の埋立地や焼却場では取り扱いません。

自分で処理するか専門の業者に頼まなければなりません。

不法投棄を行なうと法律により罰っせられます。

保育所

保護者による奉仕作業が5月31日㈯、早朝5時より実施されました。(会長秋山一重)

保育所の内外とも、すっかりきれいに清掃され、登所してきた子どもたちは、大喜びでした。

奉仕作業に際し、草花の苗と野菜の苗約100本を、木野内正三さんよりいただきました。又、トラック2台分の砂場の砂を、橋本一男さんよりいただきました。たいへんありがとうございました。

すっかりきれいになりました

泉崎第二小学校

校地拡張に伴なって伐採された、杉の木の枝や葉の片づけがかねてからの懸案でしたがPTA役員の企画と泉崎消防団第四・五分団、佐川建材さん、PTA運営委員の協力で、六月一日(日)無事焼却による作業が終了しました。早朝より御協力ありがとうございました。なお、その活用については検討しているところです。

校舎の囲りもきれいに……

名誉村民条例制定

六月の定例村議会において、泉崎村名誉村民に関する条例が制定されましたのでその内容についてお知らせいたします。

【目　的】
社会文化の振興に尽くし村民が郷土の誇りとし、深く尊敬に値すると認めるものを泉崎村名誉村民（以下「名誉村民」という）に推たいし、その称号を贈り功績と栄誉をたたえ、もって村民の社会文化興隆に対する意欲の高揚を図ることを目的とする。

【要　件】
名誉村民の称号は次に掲げる事項に該当するものに贈ることができる。
一、本村に居住している者若しくは居住していたもの、又は縁故の深いものであること。
二、公共の福祉の増進、産業、及び文化の進展又は社会公益上顕著な功績があった者であること。
三、村民が郷土の誇りとしてひとしく尊敬する者であること。

【決定方法】
名誉村民は村長が議会の同意を得て決定する。

【顕　彰】
名誉村民には村長が推たい状をもって称号を贈り、その功績を公示する。
一、顕彰のとき併せて章を贈ることができる。
二、選定後顕彰前に死亡したときは、生存中とみなして称号を贈る。

【特典又は待遇】
名誉村民に対して次の特典又は待遇を与えることができる。
一、村の公の式典への参列
二、死亡の際における相当の礼をもって弔意
三、その他村長が必要と認めた特典又は待遇

【取消等】
名誉村民が本人の責に帰するべき行為により著しく名誉を失墜し村民の尊敬を得なくなったと認めたときは村長は議会に諮って名誉村民を取消すことができる。

視察団相次ぐ

グリーンアスパラ　ハトムギ　加工場

本村の特産物としてグリーンアスパラ、ハトムギの産地化を目ざして栽培に力を入れてきましたが、その成果がみられるようになりました。

アスパラガスは今年が初出荷で三月四日から収穫され京浜地方に出荷されましたが品質、量、ともまずまずの成績でした。市場の評価も非常によく大変好評でした。

ハトムギも生産から加工へと順調に進んでおります。

加工施設も、国・県の協力によって一応完備され、ハトムギ茶を主体に製造販売されておりますがこれまた好評を得ております。これからも品質の改善、生産コストの低下をはかり泉崎村の特産物として定着させたいと思います。

最近県内外からこれらの視察者が多く、その対応におわれております。

【主な視察者】
5月20日県議会産業技術振興対策委員会20名
5月21日奥山県農政部長（外農政課職員）
5月22日大和田県農地調整課長（外農地調整課職員）
6月4日関東農政課補佐（外農政課職員）

お知らせ

関和久遺跡調査報告書（刊行本）の発売!!

約十年間にわたって発掘・調査されました調査報告書が、立派に製本印刷されて、発行されました。

希望者は、早めに村教育委員会まで、購入申込み願います。なお一冊五千円です。

特別養護老人ホーム ケアハウス 泉崎 落成式

去る五月二十四日、渡辺西蔵理事長、渡部恒三衆議院議員、海上博之村長らにより「ケアハウス泉崎」のテープカットが行なわれました。参列者は施設内を視察し明るく、清潔で近代的に設計された施設を絶賛していました。その後、農村環境改善センターにおいて盛大に落成式典が行なわれました。

この特別養護老人ホームは、さる四月一日にオープンしましたが、五〇人の方が入所でき痴呆性老人も入所できるとあって、すでに四十数人が入居、現在五〇名の入所者も確定しており入所待ちの老人もすでに出ている好調なスタートをみせています。

テープカット

彰 泉崎村交通防犯モニター協会長 円谷さん

五月二十八日に開催されました白河防犯協会連合会総会の席上泉崎村交通防犯モニター協会長の円谷喜治氏が表彰を受けました。

円谷氏は、同協会長として地域における防犯活動、防犯思想の高揚及び少年非行防止活動が認められ表彰を受けたものです。

今後の円谷氏の活躍が期待されます。

保育所 園外保育

毎年実施していた、親子遠足をとりやめ、今年度より、職員と数名の保護者の方々の協力を得、幼稚園バスをかりて、去る五月二十三日「南湖公園」にでかけました。

ゲームをしたり、固定遊具であそんだりと楽しくすごし、昼には、おかあさんがつくってくれたおにぎりを、おいしそうにたべ、大空の下で、伸び伸びとすごすことができました。

あこがれの幼稚園バスにも乗れたし、とても楽しい一日でした。

楽しい保育：おいしいネ

感謝

三菱製紙㈱白河工場さんより、泉崎一小・二小中学校・幼稚園・保育所へ「ノンウーブン」紙各一巻が寄附されました。

この「ノンウーブン」紙は不織布という特殊技術をもってつくられる大変高価な紙です。

各学校では、この紙の特性を生かし絵を描いたり、切り絵はり絵などに使い、子ども達に喜こばれています。

本当にありがとうございました。

お願い

七月一日現在で、全国いっせいに事業所統計調査が実施されます。

この調査は、統計法に基づいて行われる調査で、全国のすべての事業所を対象とした国の最も基本的な統計調査です。

調査結果は、国や地方公共団体などにおける各種行政施策や民間における事業計画の基礎資料として、多方面に利用されています。

後日、調査員が各事業所を訪問して、調査票の記入をお願いしますので、調査に御協力ください。

お知らせ

昭和六十一年度福島県保母試験日程

期日　昭和六十一年八月二十七日から二十九日までの三日間

昭和六十一年度保母試験受験準備講習会

期日　昭和六十一年七月二十一日から二十九日までの九日間

※問い合わせ　役場住民課まで

農村情報連絡施設

＝七月一日開局＝

新農業構造改善事業により、六十年九月より設置工事を進めてまいりました、農村情報連絡施設同報無線は、戸別受信機の設置も完了し、七月一日正式開局いたしました。

本年四月より試験放送を開始し村民各位のご批判を参考にさせていただきながら開局に向けての利用計画を検討してまいりましたが別表の計画で実施することになりました。

総工費一億をかけて設置した施設です。各位の御指導をいただきながら利用価値の高いものにしたいと考えます。気がついた点は随時御連絡をお願いします。

●放送計画

毎月の行事予定	毎月１日	午前７時 午後７時30分
毎週の行事予定	月曜日	〃
毎日の行事予定	毎日	〃

摘要　●災害等の緊急時には、緊急連絡が定時放送に優先する。
●時報は、午前7:00　午前10:00　正午　午後3:00　午後5:00の5回

農業委員会からお知らせ

毎月開催されます農業委員会々議に提出される書類の提出締切日等が左記のとおり決めましたのでお知らせします。

記

一、毎月　八日
受付締切
（農地の売買、交換、贈与、転用現況証明、貸し借り等の書類は農業委員会に提出して下さい。
なお、くわしくは地区担当農業委員、又は事務局にご相談して下さい。）

二、毎月　十五日
農業委員会々議
（但し都合により変更することもあります）

航空防除

今年も水稲の航空一斉防除を実施することになりました。実施予定期日は、七月十六日㈬・八月二日㈯・八月十二日㈫の三回です。

例年のとおり村全体の水田を対象にヘリコプター四機を使用して行ないます。

実施当日は、早朝（午前五時頃）よりご迷惑をおかけいたしますが、各位のご協力をお願いいたします。

行武太一氏　農業委員退任

五月十日、西白河農業共済組合役員の任期満了に伴い、行武太一氏は長年に亘り農業振興の推進と農業委員会業務に貢献されたところでありましたが、この度退任されました。

なお、後任に穂積正光氏が選任されましたのでお知らせいたします。

はとむぎ缶ジュース

我村を中心に白河地方でハトムギの水田転作作物として定着化していますが、更に価格の安定をはかり高収入を目指しています。

すでに真空パック、綿袋ティーパックの加工施設が完成し商品として売り出され好評を得ています。

今回、いよ〳〵缶ジュースタイルのハトムギ茶が商品化され販売されることになりました。

缶のデザインも非常にさわやかで、健康と美容の飲みものとして、広い層の皆さんに愛飲されるものと思います。村では、更に研究開発につとめ、生産物の付加価値を高め、農家経営の安定のため努力を重ねたいとしています。

◎地域の特性を生かして農業の活性化をはかろう

農業がきびしいといわれてから数年経過しましたが、昨今一層きびしさが増してきました。それは農業は農業だけでは解決しないし、泉崎村だけで考えても解決しません。しかし一部の農家や地域ではそれなりにいろいろ工夫されてその場を乗り切っていますが、これも根本的な解決策にはなっていません。

今、泉崎村は企業の誘致大型ニュータウンの建設などが進み人口も増加し、企業の誘致によって優秀な労働力も吸収されます。必然的に農業・農村の姿は変ってきます。

こうした中で企業の誘致と農業の方向づけ、調和のとれた農工商一体の村づくり構想も着々と進められています。

県内の農業でも発展性があり味のある農業の出来るのは県南地方特に西白河地方だといわれています。(自然、交通、経済的条件に恵まれている)また一番先に農業の姿を消すのもこの地方でないかともいわれています。(他産業にも恵まれた条件をもっている)両極端の性格をもっているのが西白河地方の農業の特徴だと思われます。それだけにこれからの農業をどうするかを真剣に考えなければならない重要な時期だと思われます。

このことは人頼みでは解決しません。自らが創造力を発揮し地域の特徴を生かし、地域ぐるみ、村ぐるみで新しい農業づくりのために努力する必要があります。そうしたことから先頃村の有志が自主的に集って地域の特徴を生かした泉崎村独特の農業の方向づけを自らがやってみようと**泉崎村の農業農村の未来を語る会**を近く発足する運びとなりました。この会の目的は、

「昨今特に農業をとりまく情勢は非常にきびしい、このきびしい農業を打開するためには農業経営者自らの創意工夫と努力によることが非常に大きい、したがってこの会は広い視野に立って将来の泉崎村の農業の方向づけを考えいかなる社会情勢の変化があっても農村農業のよさを後世に残すことを目的とする」

会の運営は自主的な活動を展開することになりますが各関係機関の協力を得ながら隣接町村との連絡協調他産業との情報交換を重ね目的達成のために努力いたしたいと思いますので皆さんのご指導とご協力をお願いします。

ウェデングプラザ共栄会

"結婚式"のすべておまかせ下さい

結納式から厳粛な挙式、披露宴にいたる、お二人の「愛の門出」「歓び」のドラマを、私共「泉崎ウェディング共栄会」にお手伝いさせて下さい。

村当局、関係皆様のバックアップをいただいて、共栄会では「地元での結婚式」を合言葉に安心してすべてをまかせられる結婚式をモットーに格安の御予算で満足いただけるようご奉仕申し上げます。

一同使命感に燃えご予約をお待ち申し上げております。

問合せ　泉崎ウェディング共栄会
(商工会　53―二二〇二)
会長　渡部健次
(電話　53―二八五六)

健康教室Ⅲ

成人病予防

泉崎村立病院長　成沢俊雄

成人病検診：院長先生

病気　特に成人病の成り立ちについて

前回は健康の維持増進のため、又病気にならないため、健康障害による悩みを防ぐため予防というものの大切さを学びました。

今回は特に成人病について考えてみましょう。高血圧、動脈硬化症、脳卒中（脳出血、脳血栓、脳塞栓）心臓病（狭心症、心筋梗塞）がん、糖尿病、痛風、消化性潰瘍（胃及十二指腸潰瘍）等が、いわゆる成人病といわれるものです。さてこれらの成人病は短い時日で出来あがるものではありません。いろいろな誘因（遺伝、不合理な食生活、運動不足ストレス）の上に長い準備状態（加令、高脂血症、高尿酸血症、軽症高血圧、脂肪肝、軽い糖尿病、慢性肝炎等の、あまり自覚症状のないものを放置しておく状態）のもとに成立するものです。つまり成人病と云うものにはすっかり出来上がった完成像としての成人病と、その準備状態にある成人病と大きく二つに分けられます。

完成された成人病（顕在性成人病）は自覚症状も強く、ただちに治療を如めなければなりません。一方準備状態の成人病（潜在性成人病）と云うのは自覚症状は殆んどないし、外見も大変健康そうです。しかし調べてみると異常がある。しかもその異常を放置しておくと顕在性の成人病を引きおこしてしまうものです。この時期を早く見出し、間違った生活習慣を是正して行くことが成人病予防に大変重要なことです。しかしながら長い間の生活習慣を改めることはなかなか困難なことです。だからと云って放置すれば、みすみす成人病に移行してしまいます。健康保持のためには、やはりそれなりの代償、努力を払う必要があります。

2001年…村立病院は!?

健康をめぐる背景の変化について

今日の地域住民の健康をめぐる背景は大きく、急激に変化しつつあります。

長い間わが国の母子保健上の特長であった多産多死の状況は急激に改善され、出生率の低下と新生児死亡・乳児死亡の面でもその低下は著しく、少産少死の情況を迎えています。これに伴って、最近小児の発育・成長は促進され、体格も大型化しています。

しかしこれに対応する体力不足、とくに持久力不足が指摘されています。大型化に伴う体力の強化は、測定結果としては認められており、持久力については、核家族化と兄弟姉妹の数の減少、さらには生活様式の改善で日常生活の中で「持久力」を求められることが少なくなったための結果であって、体格の大型化に伴うものとはいえません。

骨折事故の増加が社会的な関心を集めているがこれは、骨折事故件数の増大ではなく、骨折事故を起こす情況の変化こそが注目されるべきである。

食生活の面でも、最近非常に改善が進み、摂取過多による肥満児の発生が認められ、その一方で、思春期拒食症の低年令での発症が認められてきています。

このように、急速な食生活の改善が、さまざまな新しい健康問題を発生させています。たとえば、食生活の改善と、労働の軽減が伴えば、当然過剰摂取したカロリーが肥満とともに、成人病の若年期での発症をもたらすことになります。

私たちを育くんできた大自然の中で、自然と人、社会と人、人と人が触れあう環境作りが今一番大事なことではないでしょうか…。

食中毒

ジメジメとしたいやな梅雨期です。この時期、特に衛生面には、細心の注意を払い、食中毒を防ぎたいものです。細菌性食中毒の主なものに、感染型の腸炎ビブリオ、サルモネラ毒素型のブドウ球菌、ボツリヌス菌があげられます。それぞれの原因食品となるものは、腸炎ビブリオ＝海産物の加工食品、サルモネラ＝肉及びその加工品、ブドウ球菌＝主に穀類とその加工品、菓子類、ボツリヌス菌＝飯鮨や保存発酵食品などです。これらの予防は、行政面のみならず各家庭、個人レベルでの努力が必要な訳ですが、普段から、生物加工食品、半生製品などの製造年月日を確認する習慣や冷蔵庫の過信をしない、台所用品の衛生など心がけておきたいものです。具体的には、

防予

(1)食品を扱う手指をていねいに洗浄する。
(2)食品の保管や調理設備を清潔に保つ。
(3)まな板、包丁、ふきんをよく消毒する。
(4)ネズミ、ゴキブリ等の害虫害獣の駆除
(5)調理した物はすぐ食べる。
(6)食べ残した食品はなるべくすてる事。
(7)調理後保存した食品は、再び加熱して使用する。

以上、あたりまえの事のようですが、改めて再確認したいものです。

梅雨期こそ、これら食中毒に注意し、充分な栄養補給をして、その後にやってくるモーレツな夏をのりきるための体力作りに努力しましょう。

冷蔵庫の過信は禁物

フレッシュさん紹介

婦長
小山田　良子

♡健康づくりは毎日の暮らしの中で♡

移りゆく四季折々の中、桜の花、庭先の花々そして野の草花、このように恵まれた自然環境の中で生活することのできる私達は幸せだと思います。では幸せを持続するにはどのようにしたらいいのか考えてみる必要があります。若いと思っていてもそろそろ40才、50才そろそろ「健康！」この二字にこだわりをもちはじめます。テニス、ジョギング、ジャズダンスと最近各種スポーツ教室は大盛況。しかしその一方で相変らず運動はにが手、休日は一日ゴロ寝をきめこむ人も少なくありません。体は動かさなければ退化する一方、運動不足のままでいると太りやすい、成人病にかかりやすいなどデメリットばかり私達の生活の中に運動をとり入れ、健康の大切さについて認識をより深め、自らの健康についての関心を高め、健康で明るい職場と家庭づくりをスローガンにがんばりたいと思います。

薬剤師
佐久間　栄子

薬剤師になった動機は
高校の時、化学にとても興味があり、好きでしたので、将来も、これを生かせる様な職業につきたいと思ったのが、薬剤師になった動機です。

日頃、心がけている事は
何事も一生懸命やる様にしています。

患者さんについて
お薬の事で、わからない事がありましたら、気軽に聞いて下さい。

薬剤師になってうれしかった事は
自分の作った薬を飲んでおばあちゃんの病気が快くなった事。

今後の抱負について
地域の人達の健康を管理促進する事に、努めていきたいと思っています。

受けてみませんか人間ドック

村では、昭和六十年度から三カ年間にわたり、村民の皆さんの健康づくりの一助として、人間ドックを行っております。

本年も六月から開始され一日四名ずつ受診しています。

人間ドックは年間二〇〇名の実施予定ですが、現在まだ、申込者が二〇〇名に達しておりませんので、この機会に自分の健康を確認してみたい方は、役場・住民課までお申し込み下さい。

対象者	三十五才～六十才
検査期間	六月・七月・九月（土・日・祭日は除く。）
検査場所	泉崎村立病院
検査内容	胃ガン・心臓病・貧血など二十三項目
費用	個人負担一七、〇〇〇円（一人、二七、〇〇〇円のうち、村で一〇、〇〇〇円助成します。）

――小中学生「家庭の日作文コンクール」優秀作品紹介――

「病気と家庭」

泉崎第二小学校　北村幸子

今から、二年前、私の家のおじいちゃんがなくなりました。

そのおそう式も終え、ちょうど二週間たった日、私達がちょうど冬休みにはいった日のことです。おばあちゃんが、たおれました。そのたおれ方は、あまりにも突然でした。朝は、とても元気で、病気になるような状態ではなかったのです。おばあちゃんは入院し、私と弟は、お母さんの実家にあずけられたのです。お母さんは病院へ、お父さんは家と、家族全員ばらばらでくらしました。

私達をばらばらにしたのはなになんでしょう。それは、病気。一人が病気になると、みんなばらばらでくらしたり、悲しい思いをするのです。家庭生活の中で病気という言葉は、ない方が良い言葉です。

私達があずけられている間に、おばあちゃんは頭の手術をしました。私達には何もしてやれることがなく手術が成功するようにいのるだけでした。

私達の学校生活が始まると、お父さんが、お母さんのかわりに家の中の仕事をみんなやりました。お父さんは、会社から帰ってきてつかれた体でご飯の用意をしました。私は、お父さんのやることを見ているだけであまり手伝いもできません。

お母さんは、一週間に一回ぐらいしか帰ってきません。一人でも帰ってくるといちだんと、家が明るくなるような気がしました。

その時、私は、「家庭って不思議だな。」と思いました。なぜなら、人が一人だってふえると、一つの明るさがつくような感じがするのです。そしてまた、お母さんが病院へもどっていくと、一つの明かりが、少しずつ暗くなっていくような気がするのでした。

手術が終って、私と弟はおばあちゃんの入院している病院へいきました。そしてお母さんと話したり、しばらくぶりでおばあちゃんとおしゃべりをしました。

家に帰ってくると、病院でおしゃべりした明るさはどこへいってしまったのでしょう。家の中は、しんとしずまりかえっていました。

この時、「家庭」という言葉を使っても意味がないと思いました。だって本当の家庭は、みんながいっしょにいて、みんながいっしょに生活するものだと私は思ったのです。

おばあちゃんが、たい院してくると、近所の人が夜私の家にきました。その夜は、みんなよろこびでいっぱいでした。ひさしぶりにほっとしたような顔ばかりでした。

家庭というものは、一人一人が悲しみも、よろこびも、少しずつ分けあって、少しでも良い家庭にしようと努力し、病気もないのが一番いいとその時感じました。

福島県青少年育成県民運動推進指導員に
本柳タイ氏再任

本柳さんは昭和五十七年に福島県青少年育成県民運動推進指導員として委嘱され、以来今回が三期目で青少年問題について地域の実情を把握し、組織活動の推進と普及につとめております。

国保の窓

国保でうけられる診療

診察、検査、薬や治療材料の支給、処置、手術、入院など、病気やけがを治療するために必要なことは、すべて国保でうけられます。

診察・検査	薬・注射	治療材料など	処置・手術など	入院
からだに異常があれば、いつでも国保で診察がうけられます。診察に必要な検査もうけられます。 必要があれば、往診してもらうこともできます。	治療に必要な薬は支給されます。ただし、厚生省が定める「薬価基準」にのっている薬に限られます。	治療に用いるガーゼ、ほう帯、眼帯などの治療材料はすべて支給されます。 義足、義手、松葉杖、補聴器、めがね、脱腸帯などは、治療に必要な期間だけ貸してもらえます。	注射や、いろいろな処置・手術はもちろん、放射線治療や精神療法、慢性疾患療養指導などもうけられます。 ただし、研究中のものや医学界で認められていない特殊な治療は、国保ではうけられません。	お医者さんが必要と認めれば、国保で入院できます。入院中は食事も支給され、基準看護の病院では寝具も用意されています。 病室は一般室ということになっています。個室など上級の室へ入ることを希望したときは、差額室料を自己負担して支払います。

国保でうけられない診療

国保で診療をうけられるのは病状のあらわれた病気、けがの場合に限られます。

国保でかかれないケース	例外的にかかれるケース
単なる疲労や倦怠	疲労がつづき病気が疑われるような場合。
隆鼻術や二重瞼の手術など美容を目的とする整形手術	けがの処置のための整形手術、日常生活に影響を与えるような斜視やワキガなど。
シミ、アザなど、先天的な皮膚の病気	治療が可能で、治療を要する症状があるもの。
研究中の高度医療	都道府県知事の承認をうけた大学病院など「特定承認医療機関」で厚生大臣の指定する診療をうけるときの入院料や検査料など。
予防注射	ハシカ、百日ゼキ、破傷風、狂犬病の場合に限り、感染の危険があるとき認められます。
正常な妊娠、分娩	異常分娩の場合。
経済的理由による人工妊娠中絶手術	経済的理由以外の優生保護法にもとづく人工妊娠中絶手術。

随想

これからの老人福祉に思う (1)

泉崎村長 海上博之

＝はじめに＝

広報いずみざきでしばしばお知らせしておりますとおり、特別養護老人ホームケアハウス泉崎が、理事長渡辺酉蔵氏のもとで、スタートしました。地域に新しい福祉のとりでが始動した訳で喜びに耐えません。

この機会に**老人福祉**を考えてみたいと思います。

同居家族が親を見、親はそれをあてにすることの中で老後の安定を予想するのがまた一般的な老後の扶養感です。日本人の寿命が延び人生八十才の時代が実現し世界一の長寿国になりました。

＝扶養上の問題＝

親が元気なうちは陰居と主家別々に同居するというような同居のし方でうまくやっていくことができるけれども親が弱い老人、つまり寝たきりとか、ボケになったときに一体誰が責任をもって身体の介護をするのか、同居して扶養する場合の問題が一番大きいことになる。男と女どちらに大きな負担がかかるか、今、大体は女性のサイドに大きな負担がかかっているのが現状のようだ。男の方は自分の親であっても奥さんが見てくれるだろうと考えていると思われる。子は親を見るのは当然だと多くの人は考えるが弱い老人になったときに同居している者だけが負担を背負っていくことにならないようにしていくためにはどうすればよいか高齢化社会の21世紀に向ってこれを乗りこえることを考えておかないと女性にとって大変な問題となってくる。

＝在宅老人へ福祉サービス＝

最後には施設にお願いして面倒を見てくださいと思う心が半分、しかし一方ではできる限り家で親を見たいという気持もあると思う。これからの公的扶養としては介護施設も充実していかなければと思うが、併せて在宅の老人に対して公的福祉の手をさし出すべきであると思う。ボランティア組織を充実し地域で地域の福祉をという考えが盛んになってきているが、限度があると思われる。制度と公的責任の範囲を広げ、たとえば昼間だけお願いするデーケアとか入浴サービスとかである。家庭奉仕員の活動領域を広げるとか考えていかないと今後の高齢化社会は乗り切れないような気がする。施設に入る老人と、在宅でみてもらっているお年寄。程度や家庭条件に従いその人に良い介護の方法が選べるように充実していくべきかと思う。

（次回に続く。）

家庭教育ワンポイントアドバイス

わが家の憲法

わが家の憲法、というと少しおげさだが、親と子の約束ごと、たとえば、父親と息子の男同士の約束といったものを定めておくということを勧めたい。

そういう我が家の憲法は親の人生観・価値観を、子どもに行為をとおして理解させることになる、と同時に、親権（あるいは父権）の確立とわが家の秩序維持にも役立つのである。

作家の遠藤周作氏は、息子さんと約束して、二人だけの憲法を定めている。三つある。

一、叱られないために、ウソをいわない

二、自分がいい子になるために、友だちの悪口をいわない

三、外で出会った身体の不自由な人を見つめない

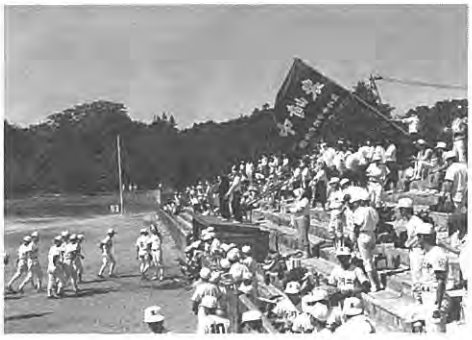
遠藤氏は、彼がこの憲法を破ったときだけ、こっぴどく叱りとばすが、その他の不都合行為は大目に見ることにしているそうである。

人間は肉体的、精神的な苦しみを避けるためなら、相当ずるいことでもする。遠藤氏は、この人間なら誰でももっている弱さからの不道徳を厭うのであろう。

社会教育指導員
河越良平

光る汗、輝く笑顔

中体連好成績でした



去る六月十一、十二日、白河市内を会場にして開催された西白河郡市中学校体育大会で、泉崎中学校の活躍がひかりました。

練習の成果が充分出しきれなかった種目もあったようですが、バスケット男子の県南大会出場をはじめ、野球部、剣道部、卓球部と大いに活躍し、胸が熱くなる名場面を数多く残した大会でした。

汗にまみれた生徒達の目はただ純粋に燃えあがりキラキラと輝いていました。この目を、この笑顔を守り育ぐくむのは私達大人の役目ではないかと思わせる大会での生徒達でした。

又、ご父兄の皆様、関係者の皆様、ご支援ご援助に心から感謝致します。

中体連の結果は、

第2位　バスケットボール男子（県南大会出場）

第3位　野球、剣道男子団体、卓球男子団体

第6位　剣道男子個人　田崎隆（二年、県南大会出場）

第6位　卓球男子個人　三本木正樹（三年、県南大会出場）

61年度支部対抗ソフトボール、バレーボール大会

農作業も一段落し晴天の中、八雲公園と泉二小で9チームの参加があり練習量豊富な北平山チームが強さを発揮し優勝しました。

バレーボールも年々各支部とも新しい選手を迎え技術の向上目ざましく接戦の上攻撃力のある太田川チームが優勝する事が出来ました。結果は下のとおりです。

第四回体育協会長杯ソフトボール大会

泉崎村ソフトボール協会では、61年度には6回の大会を計画しております。登録チームも11チームの加入があり、今年度一回目の大会にしては各チームとも練習量の豊富なせいか、盛会に終了することが出来ました。結果は対戦表のとおりです。

61年度第1回目大会

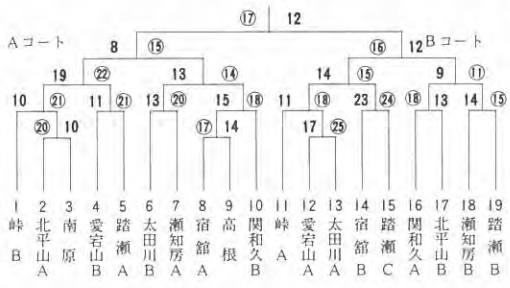
議長杯ゲートボール大会

去る六月四日、さつき公園陸上競技場において第五回議長杯ゲートボール大会が開かれました。五月晴れの好天候に恵まれ、新緑のジュータンを踏みしめ若さを取り戻し、楽しい雰囲気のうちに終了することができました。結果は下のとおりです。なお本大会の優勝準優勝チームは、来たる七月中旬に開催の郡大会へ出場することになります。上位進出を期待したいと思います。

第5回議長杯大会より

議長杯ゲートボール大会

優　勝：関和久B
準優勝：踏瀬C



支部対抗バレーボール大会
61. 6. 1
優勝：太田川A
準優勝：高根

支部対抗ソフトボール大会
61. 6. 1
優勝：北平山
準優勝：宿館

第4回体育協会長杯ソフトボール大会
優勝：太田川ソフトクラブ
準優勝：堂ノ下ドラゴンズ

今月の行事

—中央公民館—

1日㈫ 婦人学級（手芸）
2日㈬ 子ども文庫（集会場）毎週水曜日午後三時より
3日㈭ 英語教室（毎週）
青年教室（毎週）
ヨーガ教室（毎週）
4日㈮ 舞踊教室（毎週）
5日㈯ 七夕席書大会
6日㈰ 第十回女子ソフトボール大会・世代間交流
ゆずりは学級開講
8日㈫ 婦人学級（生花）、第四回白河農協杯ゲートボール大会
12日㈯ マナー教室、婦人学級（音楽）
13日㈰ 世代間交流〝ゆずりは学級〟第六回民報杯ソフトボール大会
15日㈫ おおぞら号巡回（関平地区）
16日㈬ 書道会例会
17日㈭ 県南地公連主事交歓研修会
19日㈯ ペンクラブ例会
20日㈰ 県民スポーツ大会村予選会
22日㈫ 生花教室
25日㈮ 高砂学級（クラブ）
26日㈯ マナー教室、婦人学級（音楽）
29日㈫ 婦人学級（全体学習）
31日㈭ おおぞら号巡回（川崎地区）

—保育所—

1日㈫ 61年度保育所長会議（白河社会福祉事務所）
7日㈰ 七夕
8日㈫ 主任保母部会（白河中央公）
9日㈬ おべんとうの日
14日㈪ おそうじの日
17日㈭ 安全点検日
18日㈮ プール開き
22日㈫ お誕生会
23日㈬ 職員会議
おべんとうの日
29日㈫ 避難訓練（戸外あそび中）
29日㈫～31日㈭ 身体測定

—幼稚園—

1日㈫ プール開き
7日㈪ 七夕誕生会
9日㈬ 県南教育事務所指導訪問
10日㈭～12日㈯ 身体測定
12日㈯ 園内外美化の日
16日㈬ 保育参観及び第三回家庭教育学級、花火指導会、保護者会
17日㈭ 避難訓練
19日㈯ 第一回終業式
20日㈰ 夏季休業
13日㈰ 授業参観
14日㈪ 繰替休業品
18日㈮ 緑化活動
19日㈯ 終業式、大掃除

—泉崎一小—

4日㈮ 授業参観日
7日㈪ 集会活動（七夕祭）
7・8・10・11日 短縮4校時
17日㈭ 方部懇談会
19日㈯ 第一学期終業式
21日㈪ 夏季休業日
8月20日まで

—泉崎二小—

5日㈯ 七夕祭
12日㈯ 方部子ども会

おいわい おめでた おくやみ

□結婚おめでとうございます

新郎・新婦　住所
早乙女一美　まゆみ　泉崎字弘法　塚山二番地
井上　國夫　眞弓　関和久字下　町四四番地
菊地　貞治　圭美　北平山字堂　ノ下弐番地
駒橋　正一　やよい　関和久字瀬　知房後免番
中野目久夫　順子　泉崎字谷地　久保三の三
白岩　正　裕美　踏瀬字滝原　前山八番地

■謹しんでお悔み申し上げます

泉崎字長峯一番地
大野　タイ　六十八才
泉崎字新宿七番地
根本　多利一　九十二才

□出産おめでとうございます

お子様名　父名
太田川字原山一番地
溝井　真弓　正弘
太田川字居平五十一番地
小針　祥子　健一
踏瀬字踏瀬一番地
箭内　寛人　達秀
関和久字烏川三九の五番地
駒橋　麻美　忠一
愛美
踏瀬字長峯五十番地
草野　則之　喜榮
関和久字八雲神社一番の四
小林　英明　俊道